

健康増進施設の基本的事項（案）について

1 基本的事項

- (1) 基本方針及び基本コンセプト
- (2) 建設予定地の敷地条件
- (3) 健康増進施設の導入機能
- (4) 健康増進施設の施設規模
- (5) 健康増進施設における事業展開
- (6) 西知多クリーンセンターで発生するエネルギーの利活用

2 基本的事項の検討

- (1) 基本方針及び基本コンセプト（「東海市・知多市健康増進施設基本構想」より）

ア 基本方針

「市民の健康づくり、健康寿命の延伸及び福祉の増進」

イ 基本コンセプト

- (ア) だれもが健康づくりに取り組める施設

子どもから高齢者までの幅広い世代が、温水プールなどを利用して、健康づくり・体力づくりに取り組める施設を目指します。

- (イ) 生涯を通じて健康づくりを続けられる施設

気軽に、楽しく、ライフステージにあった「心」と「体」の健康づくりを続けられる施設を目指します。

- (ウ) 民間活力の活用による施設

民間事業者のノウハウを活用し、経済性に優れ、利便性の高い施設を目指します。

- (2) 建設予定地の敷地条件

ア 敷地面積（別紙参照）

基本構想策定後、健康増進施設の必要機能を踏まえ、敷地面積を 21,806 m²から約 12,000 m²に変更した。

イ 法規制等

知多市において、都市公園の除外及び市街化調整区域から市街化区域への編

入の検討を進めている。

なお、建設予定地周辺の「ふれあい広場」「緑広場」では、サッカー場の整備が検討されている。

(3) 健康増進施設の導入機能（案）

ア 一般水泳用プール機能

水泳用に利用する25mプール（8コース程度）とし、学校等の団体利用時の一般利用については、健康増進プールで対応する。

イ 健康増進プール機能（基本構想時の「子ども用プール機能」と統合）

(ア) 水中運動プール

アクアビクス、水中歩行等を行う多目的プールを設置する。多目的プールでは、一時的に、一般水泳用プール機能を補完する。また、運動の休憩時にも利用できるジャグジープールも設置する。

(イ) 低床プール

だれもが安全に水に親しむことができるよう、2種類の浅い水深のプールを設置する。

ウ トレーニングジム機能

さまざまな年代において、気軽に有酸素運動や筋力を維持するための運動が行えるトレーニングジムとする。

また、近年の認知症予防に向けた運動と認知トレーニングを組み合わせたプログラムなど、時代にあわせたプログラムを提供できる施設とする。

エ スタジオ機能

子どもから高齢者まで、各年代層に合わせた魅力あるプログラムを通じて、楽しみながら健康増進ができる施設とする。

オ 飲食・休憩スペース機能

利用者の交流やコミュニケーションを図ることを目的に、飲食可能な休憩スペースを設置する。また、健康に関する情報提供も可能な施設とする。

カ 講義室機能

健康関連の研修、健康相談、会議などが行える施設とする。また、グループでの健康づくりの場として利用できるように、スタジオ機能をあわせ持つ多目的な施設とする。

キ その他

施設のエントランス、受付、事務室、更衣室、便所、各種設備の機械室等を設置する。

また、「愛知県人にやさしい街づくりの推進に関する条例」を満たすことに加え、個室更衣室の複数設置など、多様な利用者に対応することのできる施設とする。

(4) 健康増進施設の施設規模（案）

ア 施設規模の算出方法

「(3) 導入機能」別に類似施設の面積を整理し、必要な施設規模を算出する。

イ 類似施設の抽出

(ア) 抽出条件の整理

- ① 平成15年度以降に竣工した公共が関与している施設
- ② 健康増進を目的とした施設 又は プール機能・トレーニングジム機能を有している施設

(イ) 類似施設の抽出結果

施設名	竣工年	事業方式	施設内容
スポック富士見 (滋賀県大津市)	H30 (2018)	民設民営	プール、ジム、スタジオ
サンマリーンながの (長野県長野市)	H29 (2017)	公設民営	プール、ジャグジー、 喫茶・食堂、ジム、スタジオ、 講座室、浴場、ホール
北見市民温水プール (北海道北見市)	H27 (2015)	公設民営	プール、ジャグジー、ジム、 コミュニティー室
スイムピア奈良 (奈良県)	H26 (2014)	民設民営	プール、ジム、スタジオ、軽食、 物販
なぐわし公園 PiKOA (埼玉県川越市)	H24 (2012)	民設民営	プール、ジム、多目的ホール、 温浴施設、休憩室
守山スポーツセンター (愛知県名古屋市)	H22 (2010)	公設民営	プール、ジム、スタジオ、 体育館、フットサル
ウェルストーク豊岡 (兵庫県豊岡市)	H22 (2010)	公設民営	プール、温浴施設、ジム、 スタジオ
古橋廣之進記念 浜松市総合水泳場 ToBiO (静岡県浜松市)	H21 (2009)	民設民営	プール、ジム、スタジオ
岡崎げんき館 (愛知県岡崎市)	H20 (2008)	民設民営	プール、スタジオ、ジム、 子供育成支援機能等

施設名	竣工年	事業方式	施設内容
りすば豊橋 (愛知県豊橋市)	H19 (2007)	民設民営	プール、ジム、温浴施設、集会室
豊田市井上公園水泳場 (愛知県豊田市)	H19 (2007)	公設民営	プール、ジャグジー、ジム、スタジオ
尼崎スポーツの森 (兵庫県尼崎市)	H18 (2006)	民設民営	プール、ジム、スタジオ、フットサルパーク等
クリーンスパ市川 (千葉県市川市)	H19 (2007)	民設民営	プール、温浴施設、ジム、スタジオ、レストラン、休憩
スポパーク松森 (宮城県仙台市)	H17 (2005)	民設民営	プール、ジム、スタジオ、温浴施設、フットサル場等
こもれび山崎温水プール (神奈川県鎌倉市)	H17 (2005)	民設民営	プール、ジム、スタジオ
コート岡山南 (岡山県岡山市)	H16 (2004)	民設民営	プール、温浴施設、スタジオ、ジム、会議室等
健幸プラザ西大寺 (岡山県岡山市)	H15 (2003)	民設民営	プール、温浴施設、スタジオ、ジム、会議室等

ウ 施設規模のまとめ

機能名	想定面積	備考
一般水泳用プール機能	約 700 m ²	25m (8コース)
健康増進プール機能	約 850 m ²	多目的プール、ジャグジープール、低床プール等
トレーニングジム機能	約 320 m ²	
スタジオ機能	約 250 m ²	
飲食・休憩スペース機能	約 180 m ²	
講義室機能	約 110 m ²	
その他	約 1,770 m ²	エントランス、受付、事務室、更衣室、便所、各種設備の機械室等
合計	約 4,180 m ²	

(5) 健康増進施設における事業展開 (案)

ア 基本的な方向性

次のライフステージ区分を基本とし、基本計画の検討の中で、両市の健康施策を踏まえつつ、基本的な方向性を整理する。なお、具体的な事業展開については、事業者の提案を促すこととする。

ライフステージ	基本的な方向性（第2回検討委員会以降に提示）
妊娠・出産期	
乳幼児期（0～5歳）	
少年期（6～14歳）	
青年期（15～39歳）	
壮年期（40～64歳）	
高齢期（65歳～）	

※現時点における民間事業者の提案内容を尊重しつつ、運営段階においては、社会情勢の変化を反映しながら、時代に即した内容に見直していく。

イ 学校プールとしての利用について

構成市による学校プールの代替施設としての利用意向を確認しているため、民間事業者には構成市が想定する最大同時利用人数、利用想定等を示していく。ただし、学校プール利用を理由とした安易な施設規模の拡大は避けることとし、運用の中で対応可能な内容については、適宜対応方法を検討していく。

ウ 厚生労働大臣認定健康増進施設制度について

(ア) 趣旨

厚生労働省が国民の健康づくりを推進する上で一定の基準を満たしたスポーツクラブやフィットネスクラブを認定し、普及を図るための制度である。

(イ) 主な認定基準（運動型健康増進施設）

- ① 有酸素運動及び筋力強化運動等の補強運動が安全に行える設備の配置
（トレーニングジム、運動フロア、プールの全部又は一部と付帯設備）
- ② 体力測定、運動プログラム提供及び応急処置のための設備の配置
- ③ 生活指導を行うための設備を備えている
- ④ 健康運動指導士及びその他運動指導者等の配置
- ⑤ 医療機関と適切な提携関係を有している
- ⑥ 継続的利用者に対する指導を適切に行っている
（健康状態の把握・体力測定運動プログラム）

(ウ) 基本計画における方向性

今回整備予定の健康増進施設の導入機能及び事業展開から、本制度の認定基準を満たすことが想定されるため、基本計画の検討の中で、認定基準の達成に向けて必要な内容について詳細に調査していくこととする。

(6) 西知多クリーンセンターで発生するエネルギーの利活用

ごみ処理施設整備基本計画における検討を踏まえ、電気エネルギーでの利活用を基本とし、次の2つの利活用方法が考えられる。

- ① 中部電力㈱の電線を用いた電気の直接利用（自己託送制度）
- ② 電気を売却した売電益の活用

今後の検討方法としては、①自己託送制度を整理し、健康増進施設での適用が可能か調査する。その調査の結果、①自己託送制度の適用が可能な場合、①及び②のどちらがより効果的かを検討する。